

4年「総合英語A」の成績評価基準表

A: 定期試験	学籍番号	
B: 課題レポート	氏名	
C: その他 (課題テスト、TOEIC試験)		

授業目標	到達基準			評価割合(100%)		
	未到達基準	標準基準	優秀基準	A	B	C
				%	%	%
1. 日常生活、社会生活に関する英語の記述や文章の内容を理解できる。	<input type="checkbox"/> 日常生活、社会生活に関する英語の記述や文章の内容を理解できない。	<input type="checkbox"/> 日常生活、社会生活に関する英語の記述や文章の内容を理解できる。	<input type="checkbox"/> 日常生活、社会生活に関する英語の記述や文章の内容を詳細も含めて理解できる。	40		5
2. 英語を聴き取り、内容を理解することができる。	<input type="checkbox"/> 英語を聴き取り、内容を理解することができない。	<input type="checkbox"/> 英語を聴き取り、内容を概ね理解することができる。	<input type="checkbox"/> 英語を聴き取り、内容を詳細も含めて理解することができる。	10		5
3. 自己の研究等に関する英語の記述や論文の内容を理解できる。(D2-3)	<input type="checkbox"/> 自己の研究等に関する英語の記述や論文を7割程度理解できない。	<input type="checkbox"/> 自己の研究等に関する英語の記述や論文を7割程度理解できる。	<input type="checkbox"/> 自己の研究等に関する英語の記述や論文を9割程度理解できる。			10
4. 自己の研究成果等の概要を英語で分かりやすくまとめることができる。(D2-3)	<input type="checkbox"/> 自己の研究成果等の概要をParagraph writingの書式と構成でまとめることができない。	<input type="checkbox"/> 自己の研究成果等の概要をParagraph writingの書式と構成でまとめることができる。	<input type="checkbox"/> 自己の研究成果等の概要をParagraph writingの書式と構成で明確な論理展開でまとめることができる。		30	
備考	授業目標1、2のC(5%)は、それぞれTOEICのReadingとListeningのスコアで評価する。 授業目標3のC(10%)は専門分野に関する文章の読解能力を測る課題テストで評価する。 授業目標4のB(30%)は通年で二回課されるParagraph writingの最終原稿の仕上がりで評価する。					